

特集

本誌調査 テレワーク、RPA、AIが急増 自治体のデジタル化、コロナ禍で加速

6

2	富山和彦の直言
4	ニュース & インサイド 横浜市長選、山中竹春氏が初当選
5	霞が関 底流伏流 (厚生労働省) 再始動する解雇の金銭解決
30	グローバルインタビュー モンベル会長 辰野 勇氏
33	地域ブランド戦略 殿村 美樹氏 静岡茶をブランドにした渋沢栄一
34	フォーカス 課題山積のふるさと納税
40	フォーカス 東京圏へ集中続く、死者数は減 住基人口分析
44	グローバルレポート 宮本 貴章氏 中国で加速する少子高齢化と若者の苦悩
46	キーパーソン 自治医科大学常務理事 田谷 聡氏
48	公教育から地方を変える 平川 理恵氏 小学校不登校は少し質が違う
50	自治体財政 改善のヒント 鈴木 文彦氏 東京五輪の収支から得る、官民連携事業のヒント
52	新スマートシティ論 (最終回) 豊田 聖史氏、岩崎 亜希氏 資金面で自走するスマートシティ目指す
54	観光業界はコロナを乗り越えられるか 高橋 一夫氏 阪急のブランド力を生かした事業モデル

56	地域共生社会への課題 浅川 澄一氏 多様な住宅を核に多世代ケア
58	大学、地域を拓く 広島大学 スマートシティ実現へ常設連携拠点
60	議長に聞く 長野県生坂村議会議長 太田 譲氏
61	ニュース・ウォッチング
66	Book Review/バックステージ

お断り 「ウィズコロナ時代の自治体戦略」は休みました。



〈表紙の写真〉AIを搭載した自律走行型ロボットが来庁者を案内

岐阜県大垣市は最先端のデジタル技術を活用して住民サービスを向上させる「電子市役所」を標榜し、2020年1月の新庁舎のオープンとともに、コミュニケーション機能有

する7台のAI (人工知能) を搭載したロボットを導入した。

1階のロビーには自律走行型のロボットを配置し、来庁者をタッチパネル操作で各課・各窓口案内・誘

導している。「キッズスペース」には子どもたちと簡単な会話を交わし、絵本の読み聞かせなどをするロボットを設置している (上の写真)。(文=中川内 克行、写真=大垣市提供)